

1 国際情報発信強化の取組の概要

取組内容の特徴と目的、意義及び方法について、今回の取組における新たな点を、これまで行ってきた取組を踏まえつつ具体的に記述すること。図表を用いる等して記述してもよい。前年度以前に採択された実績がある場合には、当該補助事業においてどのような取組をしたか及び今回の取組との相違点について併せて具体的かつ明確に記述すること。

※1頁以内で記述すること。

計画調書作成に当たって留意すること

○本留意事項の内容を十分に確認し、計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

留意事項：

1. 作成に当たっては、計画調書作成・記入要領を必ず確認すること。
2. 本文全体は11ポイント以上の大きさの文字等を使用すること。
3. 各頁の上部のタイトルと指示書きは動かさないこと。
4. 指示書きで定められた頁数は超えないこと。なお、空白の頁が生じても削除しないこと。

○本留意事項の内容を十分に確認し、計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

2 国際情報発信強化の取組の目標・評価指標

国際情報発信強化に係る取組の全体構想及び具体的な目標設定について、冒頭に10行程度でその概要を簡潔にまとめて記述すること。特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述すること。

- ① 応募時点での学会の国際情報発信の現状
- ② 助成期間内に何をどこまで強化しようとするのか

上記について、助成期間の3年目の中間評価時、終了時のそれぞれの評価指標を含め具体的な目標を設定し、数値等で表わせるものについてはその数値も併せて記述すること。

（概要） ※10行程度で簡潔に記述すること。

（詳細） ※概要と合わせて1頁以内で記述すること。

3 国際情報発信強化の取組の実施計画・方法

国際情報発信強化の目標を達成するための取組内容について、具体的に各年度の実施計画・方法を記述すること。図表を用いる等して記述してもよい。

また、刊行体制を強化する等の取組を行う場合については、全体像を明らかにするため、組織図を用いて、必要に応じ役割や員数を記述する等、具体的に記述すること。

なお、複数の学術団体等で協力体制をとって国際情報発信強化を行うための取組を行う場合は、協力団体の数、それぞれの団体名、どのような協力体制をとって行うか役割等も含め、具体的に記述すること。

※1頁以内で記述すること。

（令和5年度）

（令和6年度）

（令和7年度）

（令和8年度）

（令和9年度）

計画調書作成に当たって留意すること

○本留意事項の内容を十分に確認し、計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

・本項目には、項目2「国際情報発信強化の取組の目標・評価指標」に記載したそれぞれの目標および評価指標に対して、具体的にどのような取組を行うのか、各年度における計画がわかるように記載すること。

4 新たな取組の準備状況

新たな取組の準備状況を具体的に記述すること。
複数の学術団体等で協力体制を新たにとって行う場合は、協力体制の準備状況も記述すること。

※ 1頁以内で記述すること。

計画調書作成に当たって留意すること

○本留意事項の内容を十分に確認し、計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

・本項目には、項目1～3に記載した、本補助事業において行う取組内容について、応募時点における準備の状況を具体的に記述すること。

5 重複応募をしている取組内容との相違点

Web入力画面の重複応募の有無で「有」を選択した場合、一つの学術団体等もしくは複数の学術団体等で協力体制をとる団体等として、本応募の取組内容が重複応募した取組内容とどのように違うのか、具体的かつ明確に記述すること。（公募要領「重複応募の制限」参照）

また、「国際情報発信強化」の継続事業課題のある場合は、本応募の取組内容との関係を具体的かつ明確に記述すること。なお、該当しない場合（重複応募「無」の場合）は、「該当なし」と記述すること。

※1頁以内で記述すること。